

2020/9/30-2

(うと Q 世話し 二度目はないから)

「遣りたいからやる。遣りたくないからやらない」

と言うと、いささか問題がありそうです。

特に後半部分の「遣りたくないから遣らない」に対しては「権利と義務」の問題を持ち出され「権利ばかり主張して義務を果たさないのはけしからん」と。

しかし、冒頭の言い方は正しいと思っております。

ただ、前半と後半の間に一文が隠されているとしてですが。

その一文とは

前文「遣りたいからやる」

中文「遣りたいことをやるためには、時によって遣りたくないこともやる。しかし、遣りたくないことをするためにする、遣りたくない事以外の、本当に」

後文「遣りたくないことは遣らない」

の真ん中にある中文です。

上記の「遣りたい」の文言を「仕事」という文言に置き換えることもできます。

例えば

「好きな仕事はやる。好きではない仕事はしない」

を

「好きな仕事はやる」

「好きだから、実入りは少なくとも、その仕事を続けられる（していける）その仕事を続けるために、時によって好きではない仕事もする。しかし、実入りがよくても」

「好きではない仕事はしない（つまらないし、時間の無駄遣いにしかならないから）」

遣りたいこと、好きなことをするのが一番だと思います。

人生に「二度目はない」ですから。